

# ME 育成 講座

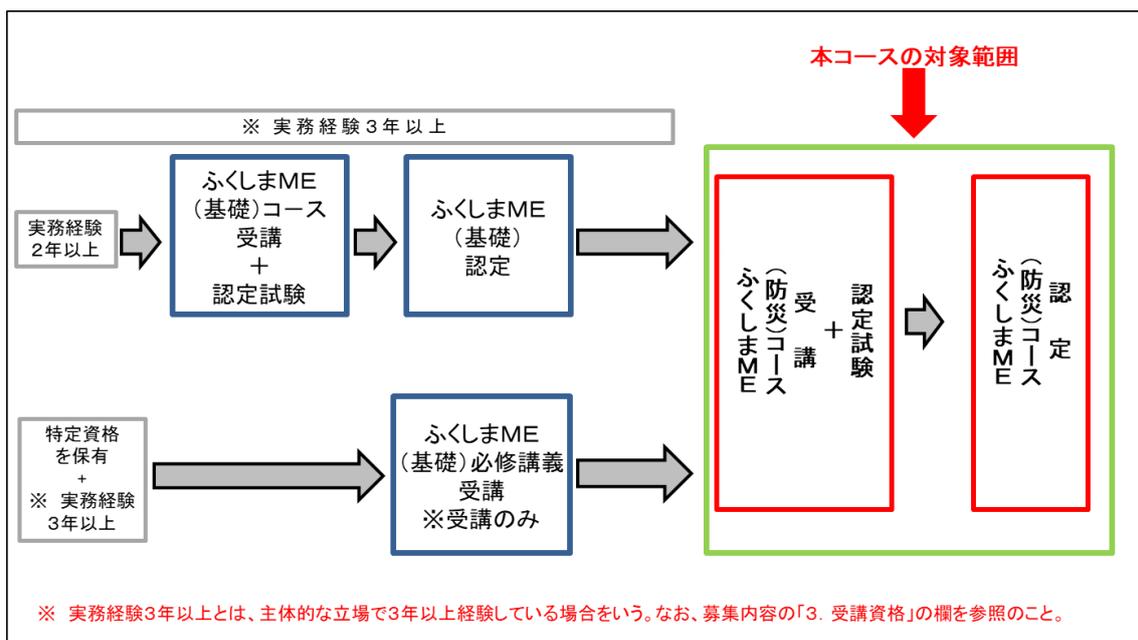
## 第6回「ふくしまME（防災）コース」

### 募集要項

#### ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

- ・申請書受付期間：令和6年8月23日（金）～令和6年9月13日（金）
- ・受講者選抜結果通知発送：令和6年10月 2日（水）
- ・受講料払込期間：令和6年10月 2日（水）～令和6年10月18日（金）  
（期日厳守）
- ・実施場所：南東北総合卸センター組合会館（郡山市喜久田町）  
なお、現地実習は、福島県柳津町において実施予定。
- ・育成講座：1日目 令和6年10月24日（木）  
2日目 令和6年10月31日（木）  
3日目 令和6年11月 8日（金）  
4日目 令和6年11月14日（木）現地実習  
5日目 令和6年11月27日（水）
- ・認定試験：令和6年12月7日（土）
- ・認定試験合格者決定：令和7年1月中旬

○ 本コースは、「ふくしまME（基礎）」の認定を受けかつ受講要件を満たす者、及び「ふくしまME（基礎）必修講義」の受講修了証の交付を受けた者（過去5年以内）が受講することができます。（下図参照）



## ME 育成講座の目的と意義

社会インフラは、豊かな国民生活の実現及び自立的で個性豊かな地域社会の形成等に寄与する国民共通の貴重な財産であります。

これら社会インフラは、高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後急速に老朽化が進むことから、その維持・修繕、更新の必要性、緊急性が全国的に課題となっております。

他方、本格的な社会インフラの維持管理・更新時代を迎える中、維持・修繕分野においては、行政を始め、地域の建設業やコンサルタントに携わるメンテナンス技術者の人材不足が深刻な問題となっております。

このような中、2017年1月12日「福島県建設業審議会」の答申において、「インフラメンテナンス技術者育成・確保に関する産学官による連携強化」について明記され、インフラメンテナンス技術者育成に積極的に取り組む必要があることが報告されました。

このため、本協議会では、「地域のインフラは、地域自らが守る」考えの下、福島県の地域特性を把握するとともに、橋梁、トンネル、舗装、斜面、河川構造物、防災施設等、社会インフラ全般に係る各種点検やメンテナンスに関する専門的かつ実践的な知識を有し、社会インフラマネジメントの中核となる技術者を安定的に育成することを目的として、図-1に示すように「ふくしまME（基礎）コース」、「ふくしまME（防災）コース」及び「ふくしまME（保全）コース」を実施しています。

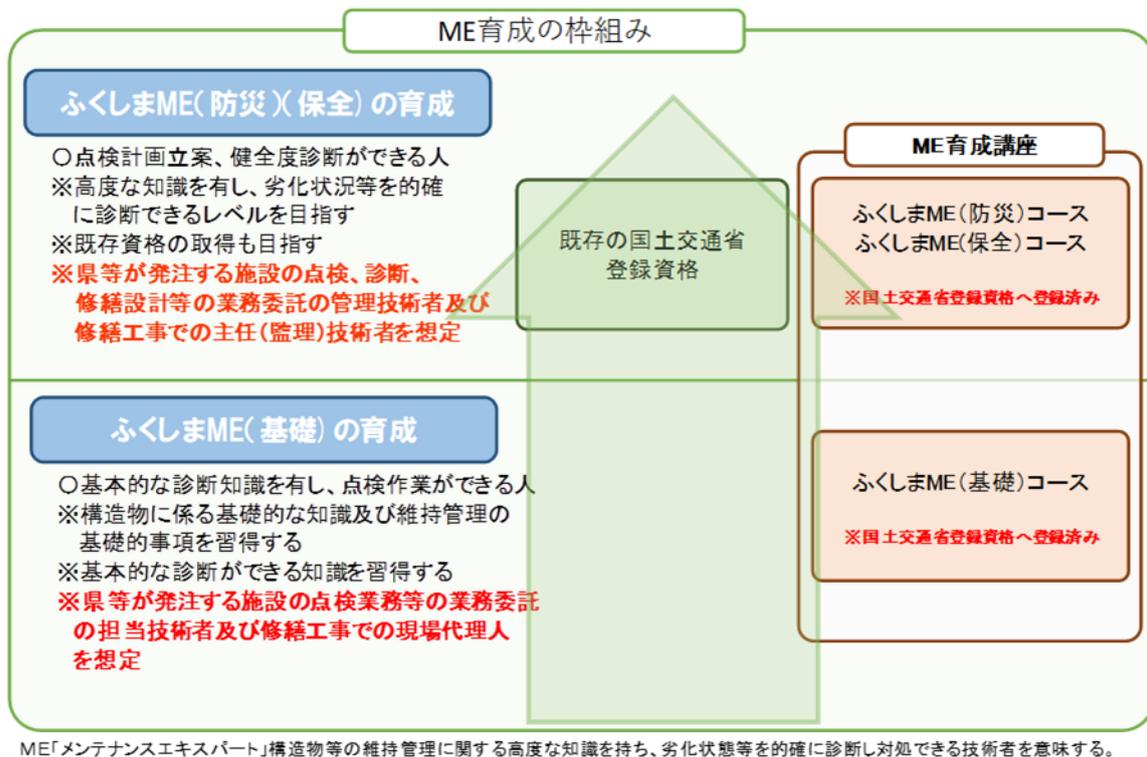


図-1 ME 育成の枠組み

基礎から応用にわたり多くの技術者の育成に取り組むことにより、社会インフラの品質確保に努め、県民の安全・安心に貢献していくこととしております。

## ME育成講座 第6回「ふくしまME（防災）コース」の概要及び実施スケジュール

本コースは、公共土木施設に関して点検計画立案、健全度診断ができる技術者「ふくしまME（防災）」の育成を図るものです。

内容は、5日間の講習（講義4日+実習1日）と1日の認定試験（筆記+面接）の6日間構成され、講義から認定試験までを一貫して行いますので、講義又は実習のみ受講することは認めません。

本コースは、福島県内の地質・地盤及び降雨、地震などの自然環境下で、道路構造物のうち、斜面崩壊や落石、雪崩、または盛土の変状による道路への影響を防止または抑止するための施設（各種シェッドを含む）、地盤変状や塩害などの影響を受けるトンネル構造物を対象とし、それらの健全度の診断と対策に関する技術を習得することを目的としています。

第6回の実実施スケジュールは下記のとおりです。

なお、講義日時、講師等は変更することがあります。

### 第6回「ふくしまME（防災）コース」実施スケジュール

※講義時間及び担当講師は、変更となる場合があります。

	研修会場	講義時間	講義内容	講師
1日目 10月24日 (木)	南東北総合卸センター組合館 (郡山市喜久田町) 中会議室	9:30～9:40	共通-1 実施要項説明	福島県、事務局
		9:40～10:30	共通-2 福島県の社会基盤施設の維持管理の現状	福島県土木企画課
		10:40～11:30	共通-3 【特別講話】 災害と防災気象情報の利活用	福島地方気象台
		11:40～12:40	防災-4 福島県の地形・地質および工学的課題	渡部 貴史 福島県地質調査業協会
		13:30～14:30	防災-4 福島県の地形・地質および工学的課題	熊谷 広幸 福島県地質調査業協会
		14:40～16:20	防災-5 環境作用によるコンクリート・鋼構造物の劣化	皆川 翔平 長寿命化研究会 英行 日本大学工学部 准教授
2日目 10月31日 (木)	南東北総合卸センター組合館 (郡山市喜久田町) 中会議室	9:20～11:20	防災-6 盛土安定診断と安定度評価	仙頭 紀明 日本大学工学部 教授
		11:30～12:50	防災-7 盛土点検計画と安定工	増子 裕一 日本技術士会東北本部 福島県支部
		13:40～15:00	防災-9 斜面安定施設の点検計画、診断	畠 良一 日本技術士会東北本部 福島県支部
		15:10～16:10	防災-10 斜面安定施設の対策工	畠 良一 日本技術士会東北本部 福島県支部
3日目 11月8日 (金)	南東北総合卸センター組合館 (郡山市喜久田町) 中会議室	9:20～10:40	防災-12 落石予防工・落石防護工	小沼 千香四 日本技術士会東北本部 福島県支部
		10:50～12:10	防災-15 トンネルの構造、点検体系、定期点検	尾崎 裕司 建設コンサルタンツ協会 東北支部
		13:00～14:40	共通-4 MEの行動憲章と技術文書作成の基本	中村 晋 日本大学工学部 上席研究員
		14:10～15:30	防災-8 斜面安定診断と安定度評価	中村 晋 日本大学工学部 上席研究員
		15:40～17:00	防災-11 落石診断と安定度評価	中村 晋 日本大学工学部 上席研究員
4日目 11月14日 (木)	やないづふれあい館 (柳津町) (現地)県道柳津昭和線	9:30～9:40	ガイダンス	日本大学工学部
		10:00～12:00 12:40～15:30	現地実習 斜面安定・落石、シェッド・トンネルの点検、診断に関する現地実習	日本技術士会東北本部 福島県支部
		16:00～17:00	意見交換会	外
5日目 11月27日 (木)	南東北総合卸センター組合館 (郡山市喜久田町) 中会議室	9:20～10:50	防災-13 ロック/スノーシェッドの概説	長尾 晃 日本技術士会東北本部 福島県支部
		11:00～12:30	防災-14 ロック/スノーシェッドの点検、診断対策	八巻 誠一 日本技術士会東北本部 福島県支部
		13:20～14:40	防災-16 トンネルの調査	鶴原 敬久 建設コンサルタンツ協会 東北支部
		14:40～16:10	防災-17 トンネルの対策工	鶴原 敬久 建設コンサルタンツ協会 東北支部
6日目 12月7日 (土)	南東北総合卸センター組合館 (郡山市喜久田町)	9:30～12:30	筆記試験	-
		13:30～17:00	口頭試験	

**ME 育成講座**  
**第6回「ふくしまME（防災）コース」 募集内容**

**1 募集人員**

50名程度

**2 受講費用等**

受講料（受験料含む） 200,000円（うち消費税10% 18,181円）

（ただし、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会に参画する団体又は行政機関に属する者は、100,000円（うち消費税10% 9,090円）とする。）

なお、受講者決定通知後に参加を取消した場合、育成講座の途中で欠席となった場合でも受講料は返還いたしません。

**3 受講資格**

受講申請者は、下記のいずれかに該当する必要があります。

(1) ふくしまME（基礎）認定者

令和6年8月23日現在まで「ふくしまME（基礎）」に認定され、かつ次の実務経験を持つ者。

① 官公庁土木技術者（関係団体の土木関係職員含む）

官公庁の土木技術者等で、社会資本の維持管理業務、または、設計・計画、監督業務を3年以上経験している者。

② 民間建設関連業土木技術者

社会資本の点検・調査、新設・補修・補強に関わる設計・施工管理業務などを主体的な立場で3年以上経験している者。

※主体的な立場とは自分の意志・判断に基づき業務を遂行できる立場をいい、者とは委託業務は担当技術者、施工管理業務は現場代理人などを指す。

③ 現在の所属機関のみでは上記①及び②の要件を満たしていない土木技術者等

複数の所属機関での実務経歴がある場合は、新旧の所属機関で実施した合計の経験年数を3年以上有する者。

(2) 「ふくしまME（基礎）必修講義」受講修了者

令和6年8月23日現在まで「ふくしまME（基礎）必修講義」に係る受講修了証の交付を受けた者。（過去5ヵ年以内に限る。）

**4 受講申請手続き**

(1) 申請期間

令和6年8月23日（金）～ 令和6年9月13日（金）

(2) 提出方法

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局まで、上記の申請期間内にホ

ホームページから申込書を送信するとともに必要書類をFAXしてください。

(3) 提出書類

提出書類は、申込み年月日、証明年月日などを除き令和6年8月23日現在で作成すること。

- ① 受講申込書（ホームページから送信願います。）  
官公庁土木技術者等、民間建設関連業土木技術者とも、（様式1）に記入。
- ② 証明写真（ホームページから申込書の「画像取込」で次のJPGデータを添付します。）  
申請3ヵ月以内に撮影したカラーの**顔写真**、無帽、正面向き、**縦型5:4**、2MB以内。
- ③ 実務経歴書（ホームページから申込書送信後に返信された様式を印刷し押印のうえFAXにて送信願います。）

ア 官公庁土木技術者等

受講資格を確認するため、（様式2）に記入。

なお、自分より上位の管理職の職名・氏名を記入し、押印したものを提出すること。

イ 民間建設関連業土木技術者

受講資格を確認するため、（様式3）に記入。

なお、現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印したものを提出すること。

また、受講資格を満たすため現在の所属企業以外での実務経歴も必要な場合には、旧所属企業分についても（様式3）により旧所属の会社名、代表者名を記入し、旧所属の代表者印を押印したものを併せて提出すること。

（注1）個人及び事業主の方が、自分で自分の経歴を証明することは出来ません。第三者（組合や元請け又は同業者等）から、証明を頂いてください。

- ④ 認定証、受講修了証（③実務経歴書といっしょにFAXにて送信願います。）

ア 「3 受講資格（1）」に該当する者

令和6年8月23日現在有効な「ふくしまME（基礎）」に係る「認定証」の写し。

イ 「3 受講資格（2）」に該当する者

令和6年8月23日現在有効な「ふくしまME（基礎）必修講義」に係る「受講修了証」の写し。

(4) 提出先

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

URL：<https://www.fukushima-infra-maintenance.jp/>

住所 〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号（福島県建設センター6階）

ファックス番号 024-523-1729

## 5 受講者の選抜

### (1) 選抜方法

受講申請書類に基づき厳正に審査し、受講者を選抜します。

なお、応募者多数の場合は、応募者の年齢、所属先、地域性、実務実績を考慮して、受講者を選抜します。

### (2) 選抜結果の通知

令和6年10月2日付けで、選抜結果を本人宛にメールにより通知します。

なお、この日より1週間を経過しても選抜結果通知書が届かない場合には、事務局までお問い合わせください。

(注) 選抜結果通知の際、受講料納付方法についてお知らせしますが、指定した期日までに受講料の入金がない場合には、受講できませんのでご注意ください。

## 6 個人情報の取扱い

提出された申込書等に記載された氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局が責任をもって管理します。

## 7 受講修了、認定等について

### (1) 受講修了証の交付

本コースの全課程を受講した者に対し、受講修了証を交付します。

なお、レポート課題等の未提出が一部でもあった場合や、遅刻、欠席が一部でもあった場合には、原則として受講修了証は交付しません。

ただし、遅刻又は不可避の理由<sup>(※1)</sup>による欠席<sup>(※2)</sup>の場合のみ、次回のME育成講座第7回「ふくしまME(防災)コース」(以下、「次回防災コース」という。)において、受講できなかった講義を一度のみ受講料免除の上受講でき、受講することで本コースの全課程を受講したものとして受講修了証を交付します。

※1 不可避の理由：3親等以内の忌引き、不慮の事故などを指します。

※2 欠席が2日を超える場合を除きます。

### (2) 認定試験の目的と受験資格等

ア 認定試験は、福島県の地象、気象環境を認識するとともに、主に道路構造物を対象とした社会基盤施設の災害や劣化を踏まえた点検や診断、さらに対策を含む維持管理の業務を主体的に実施する能力を有しているとともに、福島県におけるMEとして留意すべき事項を把握し、若手技術者の範となり育成に努める意欲を有していることの確認を目的とし、筆記試験と口頭試問を実施します。

・筆記試験：専門知識の習得状況と維持管理に関する経験と判断力など実務能力を確認する。出題は、択一式及び記述式の両形式とします。

・口頭試問：福島県における社会基盤施設の維持管理に関するポリシーを理解し、ふくしまMEの役割を認識していること、適切な判断力に基づく実務能力を有していることを確認する。

イ 本コースの受講修了証の交付を受けた者のみ、認定試験を受けることができます。

なお、今回の認定試験において下記①～③に該当する者は、次回以降の防災コースの認定試験を今後3年間のうち一度のみ受験することができます。さらに、下記①及び②に該当する者については、次回防災コースの受講を免除します。

- ① 認定試験において不合格となった者（受験料10,000円）
- ② 受講修了証の交付を受けたが受験できなかった者（受験料 無料）
- ③ 遅刻、欠席した者で、次回防災コースを受講し受講修了証の交付を受けた者（受験料 無料）

### (3) 認定証の交付

認定試験後、審査委員会、協議会の審議を経て、試験に合格した者には「ふくしまME（防災）」の認定証を交付します。

なお、認定証の有効期間は、5年間（更新制）とします。

### (4) 合格者の発表

令和7年1月中旬に、合格者の受講番号をふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会HP上に掲載するとともに、「ふくしまME（防災）」の認定証を本人宛に郵送します。

## 8 CPDSプログラムについて

本コースは、CPDS（一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会）プログラムの認定対象予定の講習会です。

なお、認定証交付時に本人確認をしますので、顔写真付きの証明証（運転免許証など）を提示願います。

## 9 問合せ先

〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号（福島県建設センター6階）  
ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事務局  
TEL：024-563-1321  
FAX：024-523-1729  
URL：<http://www.fukushima-infra-maintenance.jp/>

(様式1)

ME育成講座 第6回「ふくしまME(防災)コース」

— 受講申込 — ホームページから申請ください

申請ID			
受講コース	jpgまたはjpeg 2MG以内 顔写真 縦型 5:4		
フリガナ			
氏名			
生年月日			□□ 年 月 日 (満 歳)
ME(基礎)認定番号 または必修講義の受講番号			
現住所	〒 -		
電話番号	TEL:	携帯:	
勤務先			
勤務先住所	〒 -		
	TEL:	FAX:	
連絡先 E-Mail			
勤務先の所属団体			
最終学歴	年 月	学校・学部・学科	
	□□ 年 月卒		
土木に関する職歴	年 月	所 属	
	□□ 年 月		
延べ経験年数	□□ 年 月		
	□□ 年 月		
土木に係る 主な公的資格	年 月	名称(登録番号等)	
	□□ 年 月		





(様式1)			
ME育成講座 第6回 「ふくしまME(防災)コース」 — 受講申込 — 入力例			
申請ID			
受講コース	第6回「ふくしまME(防災)コース」	jpgまたはjpeg 2MG以内 顔写真 縦型 5:4	
フリガナ	フクシマ タロウ		
氏名	福島 太郎		
生年月日	平成 1年 8月 1日 (満 34歳)		
ME(基礎)認定番号 または必修講義の受講番号	ふくしまME(基礎) 登録番号 第23(基礎)〇〇〇号 又は 第×回ふくしまME(基礎)必修講義 1×××××		
現住所	〒0000000 〇〇市 △町 字 〇〇〇番地		
電話番号	TEL:000-0000-0000	携帯:090-0000-0000	
勤務先	(株)〇〇〇〇建設 / 福島県〇〇建設事務所 等		
勤務先住所	〒000-0000 〇〇市 ◆町 字 ●●●●番地 TEL:000-111-2222	勤務先等が本協議会に参画する団体又は行政機関を一つを選択してください。本協議会に参画していない方は、その他を選択してください。 ①福島県建設業協会 ②福島県測量設計業協会 ③福島県地質調査業協会 ④福島県法務保護協会 ⑤ふくしまインフラ長寿命化研究会 ⑥日本技術士会東北本部福島県支部 ⑦福島県土木施工管理技士会 ⑧ふくしま市町村支援機構 ⑨福島県 ⑩福島県内の市町村 ⑪その他	
連絡先 E-Mail	※メールアドレスを記入のこと		
勤務先の所属団体	福島県建設業協会等 又は その他		
最終学歴	年 月 平成●●年●●月卒		〇〇大学 ◆◆学部 △△科
土木に関する職歴	年 月	所	
7行まで入力可	平成●●年●●月	(株)〇〇〇〇建設 採用	※主なものを記入してください。省略した部署は主なものの期間に加えること。
延べ経験年数	平成●●年●●月	〇〇〇〇建設 〇〇課	
年 月	令和●●年●●月	(株)〇〇〇〇建設 〇〇課 課長	※現在の所属
土木に係る主な公的資格	年 月	名称(登録番号等)	
4行まで入力可	□□ 年 月		
	□□ 年 月		
	□□ 年 月	※記載の中から選択してください。	
	□□ 年 月		

(様式2)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 第6回「ふくしまME(防災)コース」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

◆ 土木に関する主要な実務経歴書 (官公庁土木技術者等の経験証明用) ◆

所属	職名(担当)	関係実務	勤務期間	
〇〇建設事務所〇〇部〇〇課	技師(設計・管理担当)	道路・河川管理	H〇.〇~R〇.〇	1年6ヵ月
土木部〇△課	副主査(管理担当)	河川管理	R〇.〇~R〇.〇	1年
土木部◆◆課	主査(管理担当)	道路管理	R〇.〇~R〇.〇	1年
<p>※ 重複期間を除いた合計3年以上の実務経歴を記入すること。            現職場のみでは実務経歴が3年以上とにならない場合には、            従前の実務経歴を加えて記載すること。</p>				
<p>※自分より上位の管理職の役職名・氏名を記入し、押印する。</p>			※計 3 年 6 ヵ月	
<p>す。 令和 00年 00月 00日</p>				
<p>役職名 ○ △ 課 長            氏 名 ○ ○ ○ ○ ㊟</p>				

(様式3)

記入例

ここには何も記入しないこと

ME育成講座 第6回「ふくしまME(防災)コース」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

◆ 土木に関する主要な実務経歴書 (民間建設関連業土木技術者の経験証明用) ◆

業務名	受注者名	関係実務	発注者名	勤務期間	
平成〇年度〇〇線道路改良工事	(株)〇〇建設	道路改良・現場代理人	〇建設事務所	H〇.〇~R〇.〇	8ヵ月
平成◆年度◆◆線橋梁補修工事	(株)〇〇建設	橋梁補修・主任技術者	△建設事務所	H〇.〇~R〇.〇	1年6ヵ月
令和△年度△△川筋測量設計業務委託	(株)△△測量設計	河川改修設計・担当技術者	◆市役所	R〇.〇~R〇.〇	1年6ヵ月
<p>※ 現所属企業における重複期間を除いた合計3年以上の主体的な立場で携わった実務経歴を記入すること。            ※ 「関係実務」欄には、実務内容のほか、当該業務に携わった立場も明記すること。            【例】 工事等の場合⇒現場代理人、監理技術者 など            委託業務等の場合⇒担当技術者、主任技術者 など</p> <p>なお、受講資格を満たすため以前に所属した企業分の実務経歴書も併せて提出する必要がある場合は、その代表者が押印した実務経歴書を合わせて提出すること。</p>					
				※計 3 年 8 ヵ月	
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。 令和 00年 00月 00日</p>					
<p>※ 現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印する。</p>		<p>会社名 (株)〇〇建設または(株)△△測量設計            代表者名 ○ ○ ○ ○ ㊟</p>			

※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。